

マタイ 40

# 遠ざけるべき 口伝律法と世俗とは

マタイ福音書15:29～16:12 四千人の供食・パン種の警告

[Shikaoichurch.com](http://Shikaoichurch.com)



## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. 4千人の供食 15:29～39

II. 悪い姦淫の時代 16:1～4

III. 答え合わせ 16:5～12

IV. まとめと適用

遠ざけるべき

口伝律法と世俗とは？

重要!!



ゴラン高原



## 0. イントロダクション

カペナウムの再現図

# メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル  
(指導者)

バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年  
エルサレム陥落



## メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、教会の礎を築き始められている
  - ➡ 訓練された使徒たちが、教会の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
  - ➡ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
  - ➡ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- ガリラヤの領主ヘロデと、エルサレムの宗教権威者に命を狙われ、イエスは、異邦人を地を巡っていく…





## Ⅱ. 4千人の供食

マタイ福音書15:29～39

ゴラン高原から望むガリラヤ湖

## 本編

### ガリラヤ湖東岸で マタイ15:29

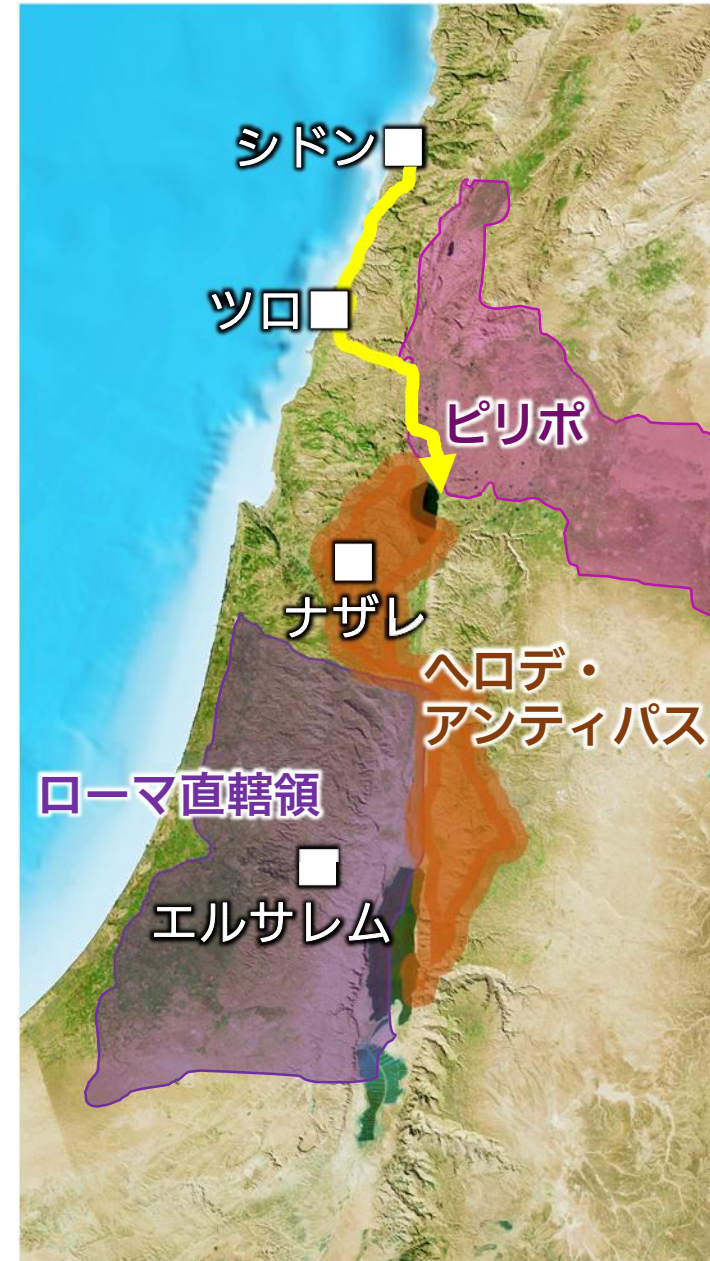
それから、イエスはそこを去ってガリラヤ湖のほとりに\*行かれた。そして山\*に登り、そこに座っておられた。

\*ガリラヤ湖東岸・異邦人の地(シリア領)

デカポリス地方…十のローマ風都市からなる

\*ゴラン高原

■異邦人の地、ツロ・シドンから、同じく異邦人の地であるデカポリス地方へ。





## 本編

## 大勢の群衆 マタイ15:30

すると大勢の群衆\*が、足の不自由な人たち、目の見えない人たち、手足の曲がった人たち、口のきけない人たち、そのほか多くの人をみもとに連れて来て、イエスの足もとに置いたので、イエスは彼らを癒やされた\*。

\*癒やされたガダラ人が伝道した影響か

\*イスラエル側のガリラヤでは、

大規模な癒やしはされなくなっていた。

**異邦人の地で大規模な癒やしが!!**



ゴラン高原 ヒッパス遺跡



## 本編

## 群衆の驚き マタイ15:31

群衆は、口のきけない人たちがものを言い、手足の曲がった人たちが治り、足の不自由な人たちが歩き、目の見えない人たちが見えるようになる\*のを見て驚いた。そしてイスラエルの神をあがめた\*。

\*メシア預言が、異邦人にも成就

\*異邦人が、イスラエルの神をあがめた。



## 本編

## 主イエスの憐れみ マタイ15:32

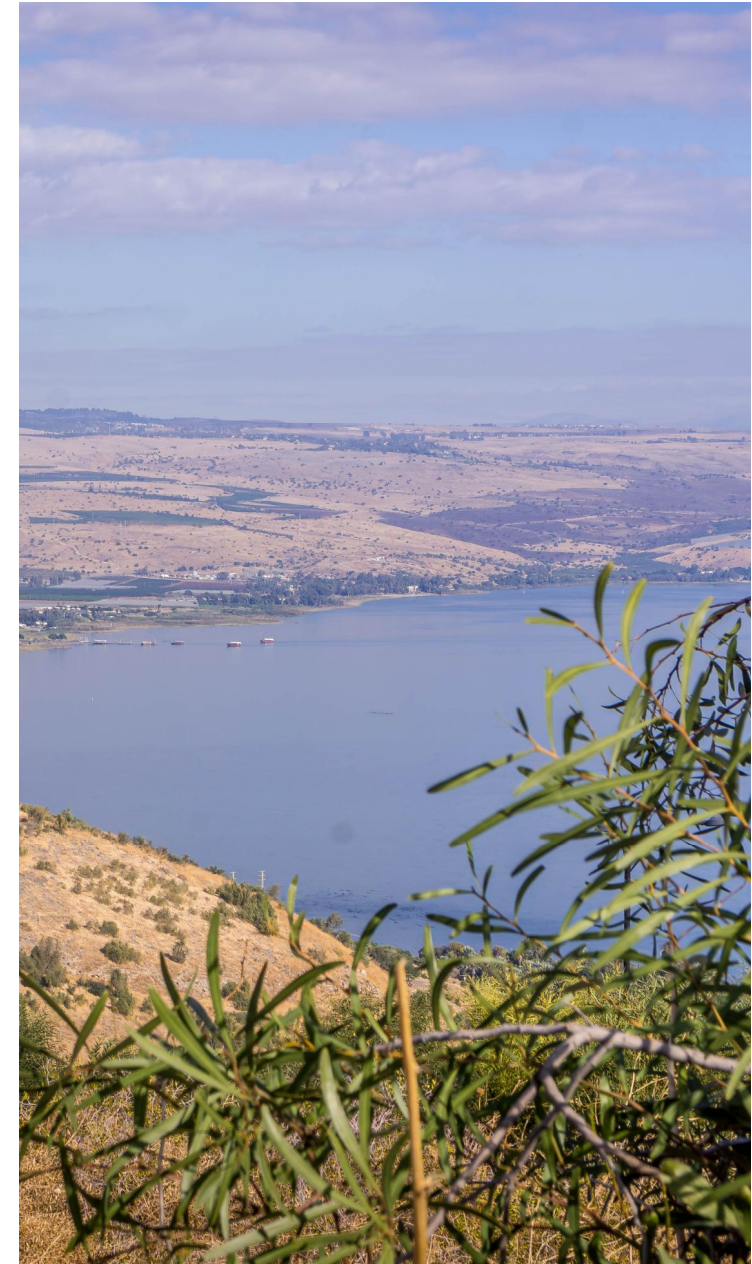
イエスは弟子たちを呼んで言われた。

「かわいそうに、この群衆はすでに三日間わたしとともにいて\*、食べる物を持っていないのです\*。空腹のまま帰らせたくはありません。途中で動けなくなるといけないから」

\*三日間も一緒。イスラエルにもない熱心さ。

\*3日も滞在するするとは、人々も想定外。

持ってきた食べ物も尽きてしまっていた。



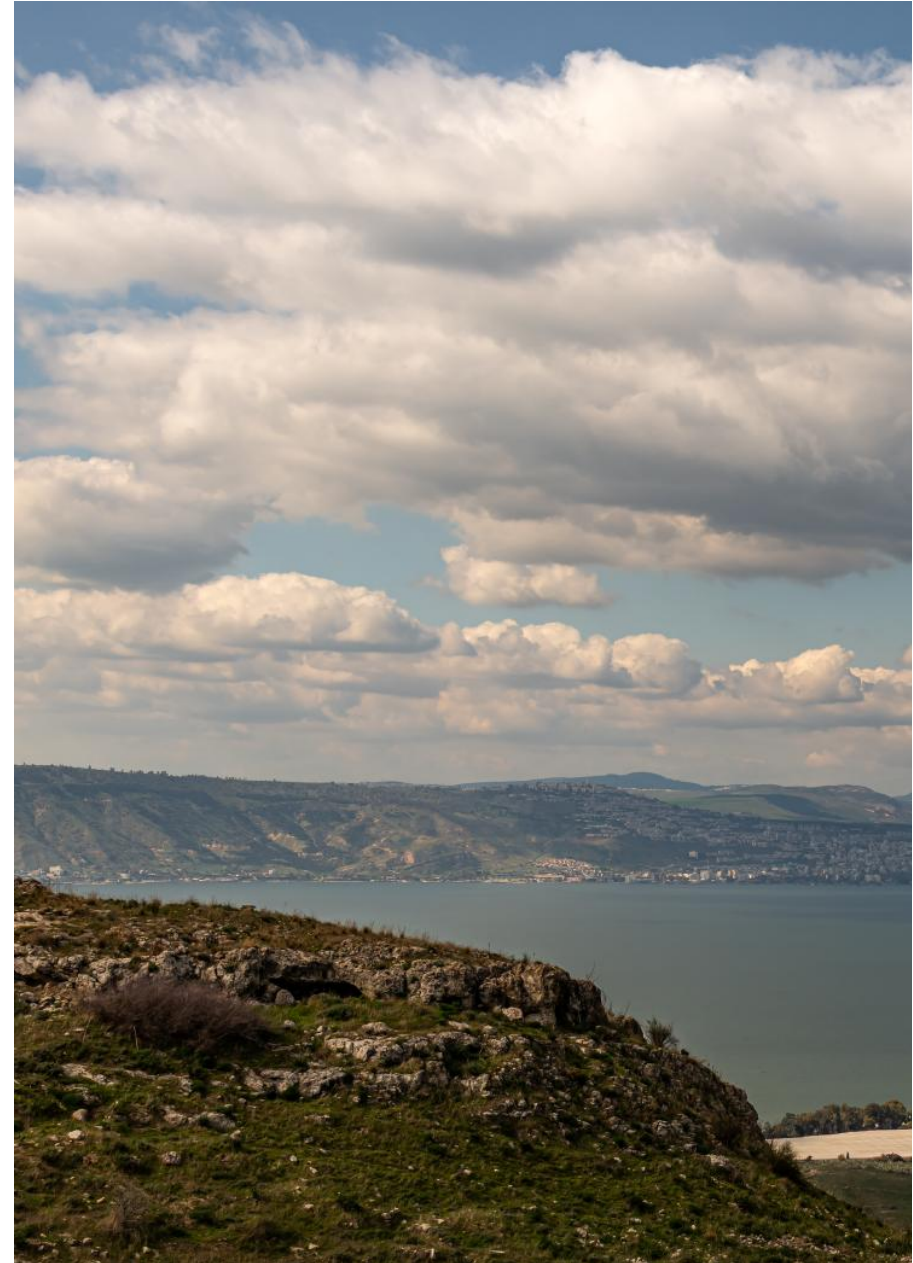


## 本編 弟子たちの反論 マタイ15:33

弟子たちは言った。「この人里離れたところで\*、こんなに大勢の人に十分食べさせるほどたくさんのパンを、どこで手に入れることができるでしょう。」

\*人々の方から、山の上におられる  
イエスのもとにやってきた。

■弟子たちが口にした言葉は以前と同じ  
➡やはり「できない」と言う弟子たち  
異邦人の地での奇跡は想定外？



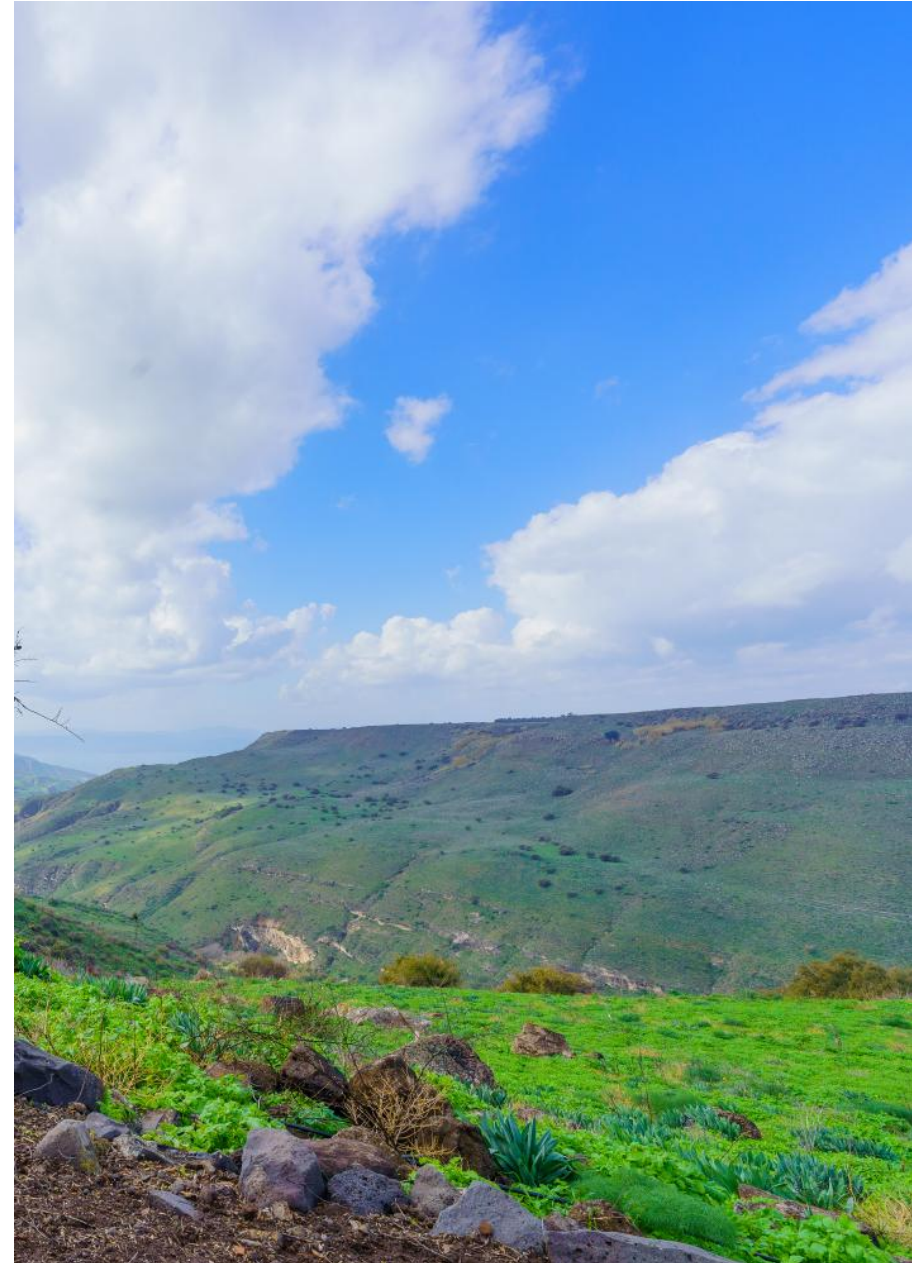
## 本編 七つのパン マタイ15:34～35

すると、イエスは彼らに言われた。

「パンはいくつありますか。」彼らは言った。「**七つ**です。それに、小さい魚が少しあります。」

そこで、イエスは群衆に地面に座るように命じられた。

■ 以前と同じ光景が、異邦人の地で。





## 本編

### 七つのかご マタイ15:36～38

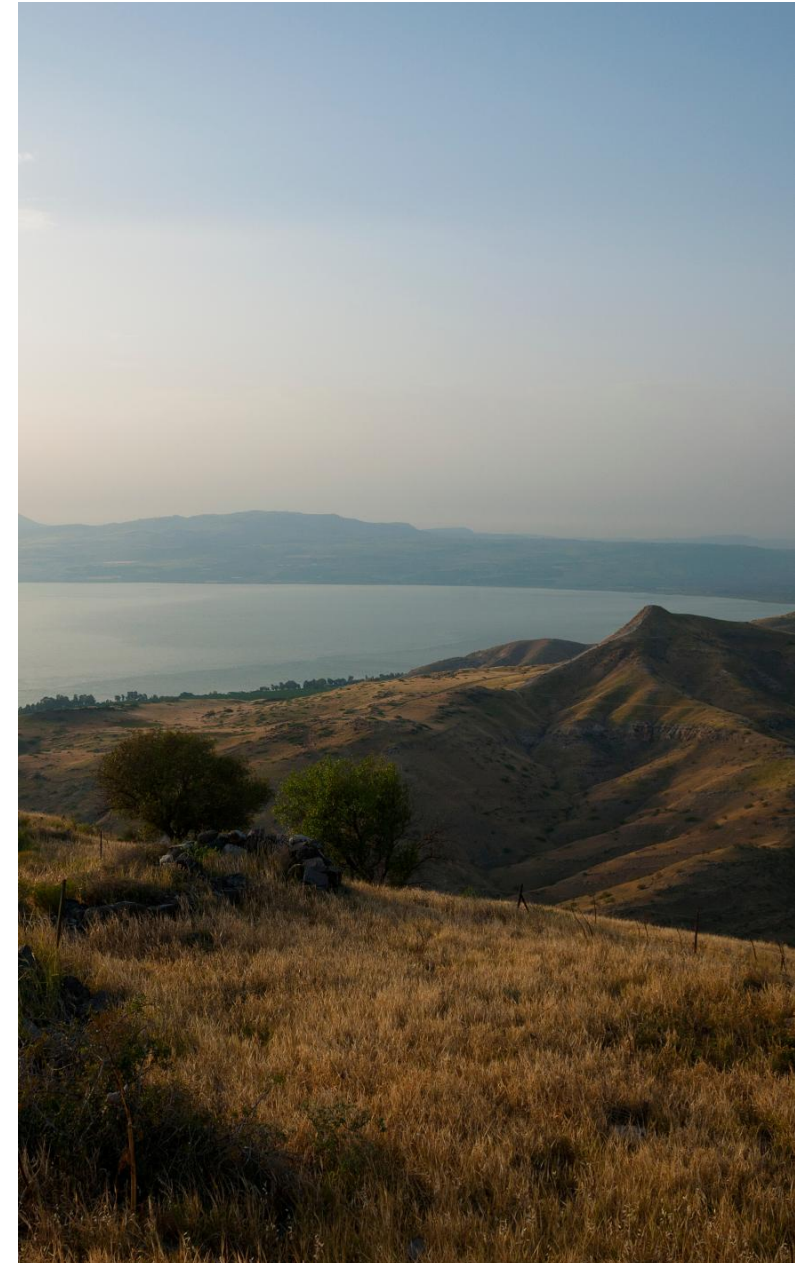
そして七つのパンと魚を取り、感謝の祈りをささげてからそれを裂き、弟子たちにお与えになったので、弟子たちは群衆に配った。

人々はみな、食べて満腹した。そして余ったパン切れを集めると、**七つのかご\***がいっぱいになった。食べた者は、女と子どもを除いて男**四千人**であった。

＊“七つの大かご”

■ 五千人の供食は、12のかご

四千人の供食は、7つの大かご



## 本編 マガダン地方へ マタイ15:39

それから、イエスは群衆を解散させて舟に乗り、**マガダン地方\***に行かれた。

＊ガリラヤ湖西岸

…ダルマヌタ地方(マルコ8:10)

■ 5千人の時は、逆に異邦人の地へ移動

➡ 同じく人々の熱狂を避けられた？

■ 異邦人との供食の奇跡の直後に、ユダヤ人の土地に戻られた。

➡ メシアの使命、優先順は明らか







## Ⅱ. 悪い、姦淫の時代

マタイ福音書16:1～4

ガリラヤ湖西岸からゴラン高原を望む

## 本編

## 敵対者たち マタイ16:1

パリサイ人たちやサドカイ人\*たちが、イエスを試そうと近づいて来て\*、天からのしるし\*を見せてほしいと求めた。

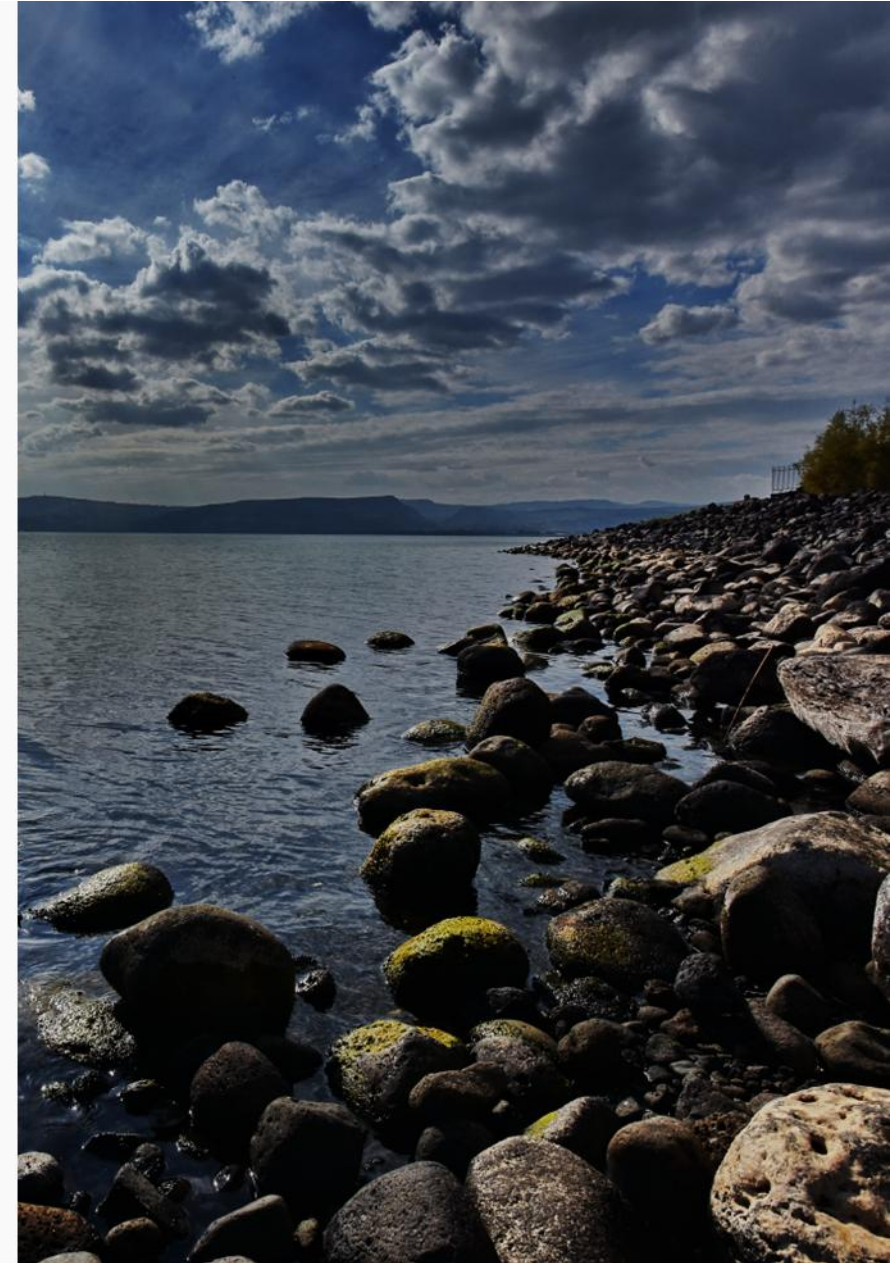
\*イエスの前には初登場

➡敵対するパリサイ人と行動を共に!!

\*待ち構えていた。完全にお尋ね者状態。

\*散々求めた挙げ句、拒絶したのに…

■ 権力者、宗教指導者が共同で、  
捕らえる口実を探しているだけ!!





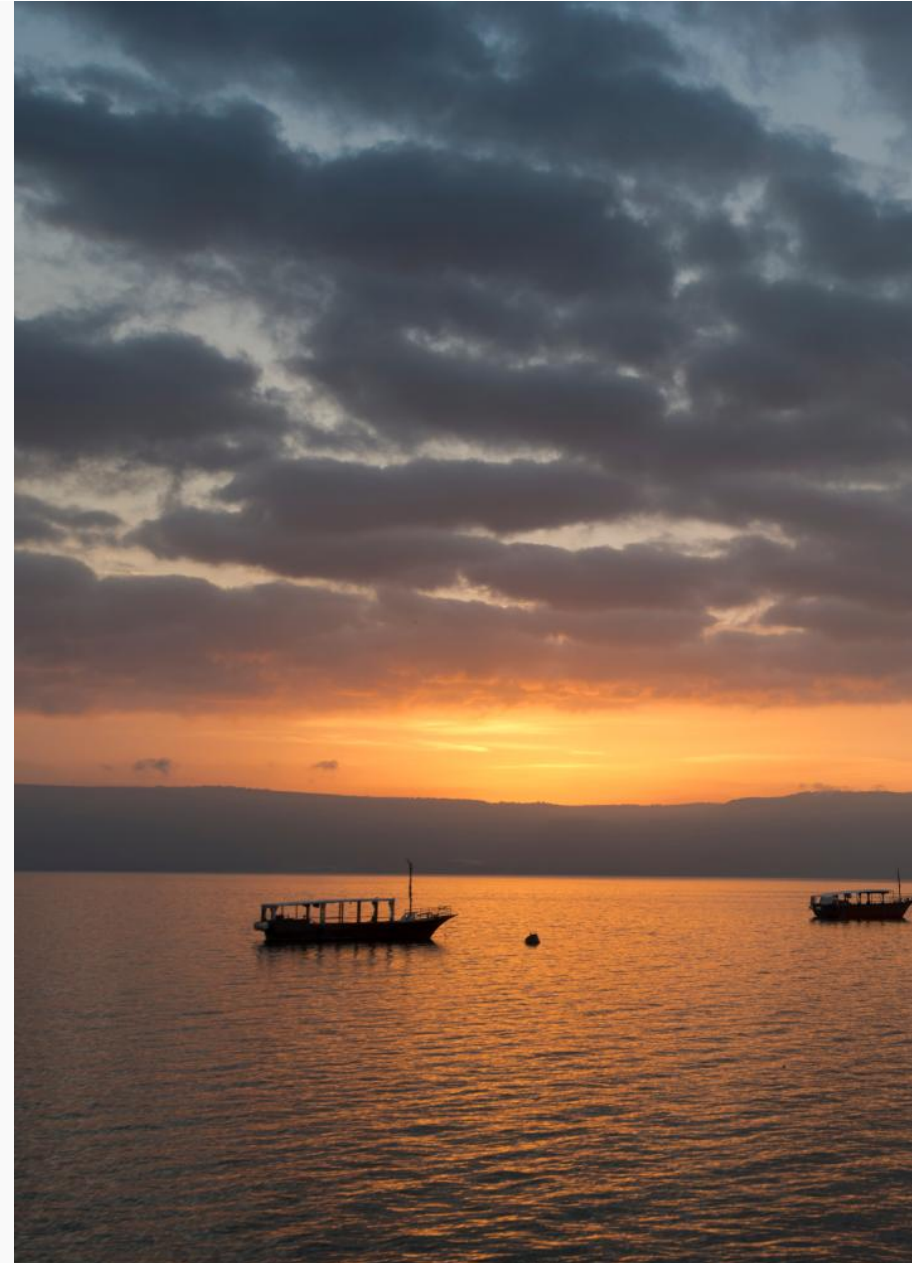
## 本編

### 時のしるし マタイ16:2～3

イエスは彼らに答えられた。「夕方になると、あなたがたは『夕焼けだから晴れる』と言い、朝には『朝焼けでどんよりしているから、今日は荒れ模様だ』と言います。空模様を見分けることを知っていながら、**時のしるし\***を見分けることはできないのですか。

＊“メシアの時のしるし”

■先駆者のヨハネに始まり、メシアの幾多の奇跡。しるしは十分過ぎるほど



## 本編

### 姦淫の時代 マタイ16:4

「悪い、姦淫の時代\*はしるしを求めます。しかし、ヨナのはしるしのほかには、しるしは与えられません\*。」こうしてイエスは彼らを残して去って行かれた。

\*イスラエルの公式なメシア拒絶後。

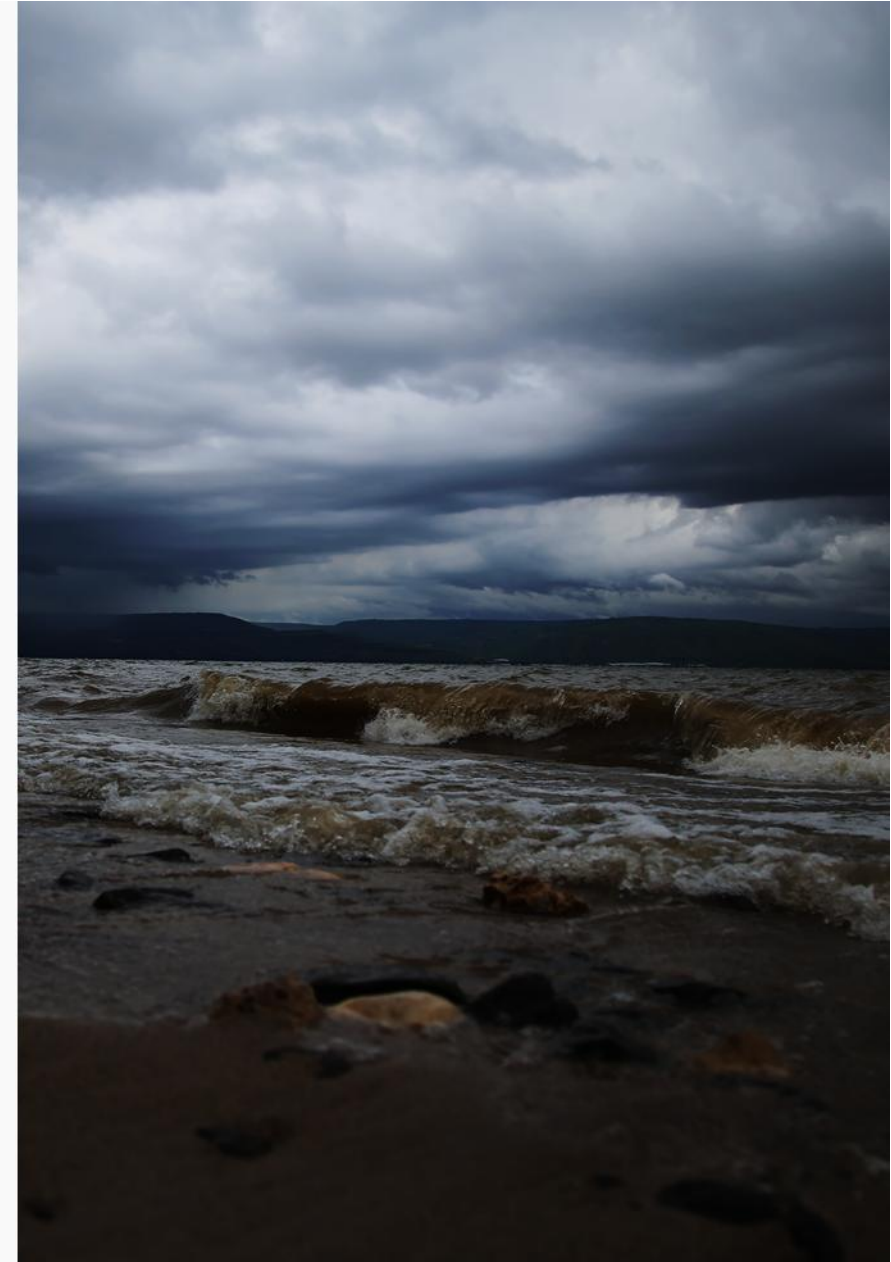
霊的姦淫＝不信仰の背信の時代

\*ベルゼブル論争・マタイ12:39でも

“ヨナのはしるし＝復活”

■証拠を見せろと繰り返すだけの敵対者。

➡イエスはもはや、相手にもしない







### Ⅲ. 答え合わせ

マタイ福音書16:5～12

重要!!

ゴラン高原



## 本編

### 再びの対岸で マタイ16:5～6

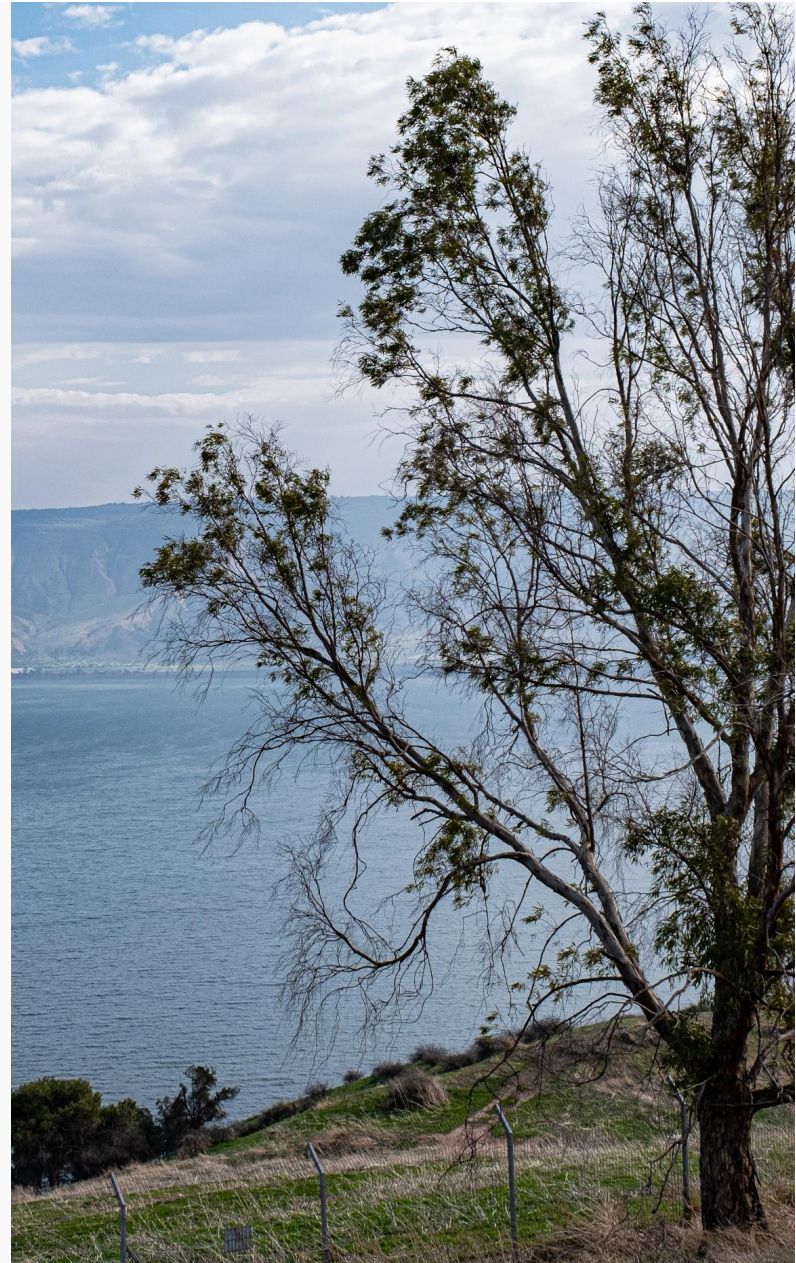
さて、向こう岸\*に渡ったとき、弟子たちはパンを持って来るのを忘れてしまっていた\*。

イエスは彼らに言われた。「パリサイ人たちやサドカイ人たちのパン種に、くれぐれも用心しなさい。」

\*再び対岸のデカポリス、異邦人の地へ

\*とんぼ返りで調達する暇もなかった?!

■意識すべきは、パンのあるなしではなく、パリサイ人、サドカイ人のパン種。





## 本編 弟子たちの議論 16:7～8

すると彼らは「**私たちがパンを持って来なかったからだ\***」と言って、自分たちの間で議論を始めた。

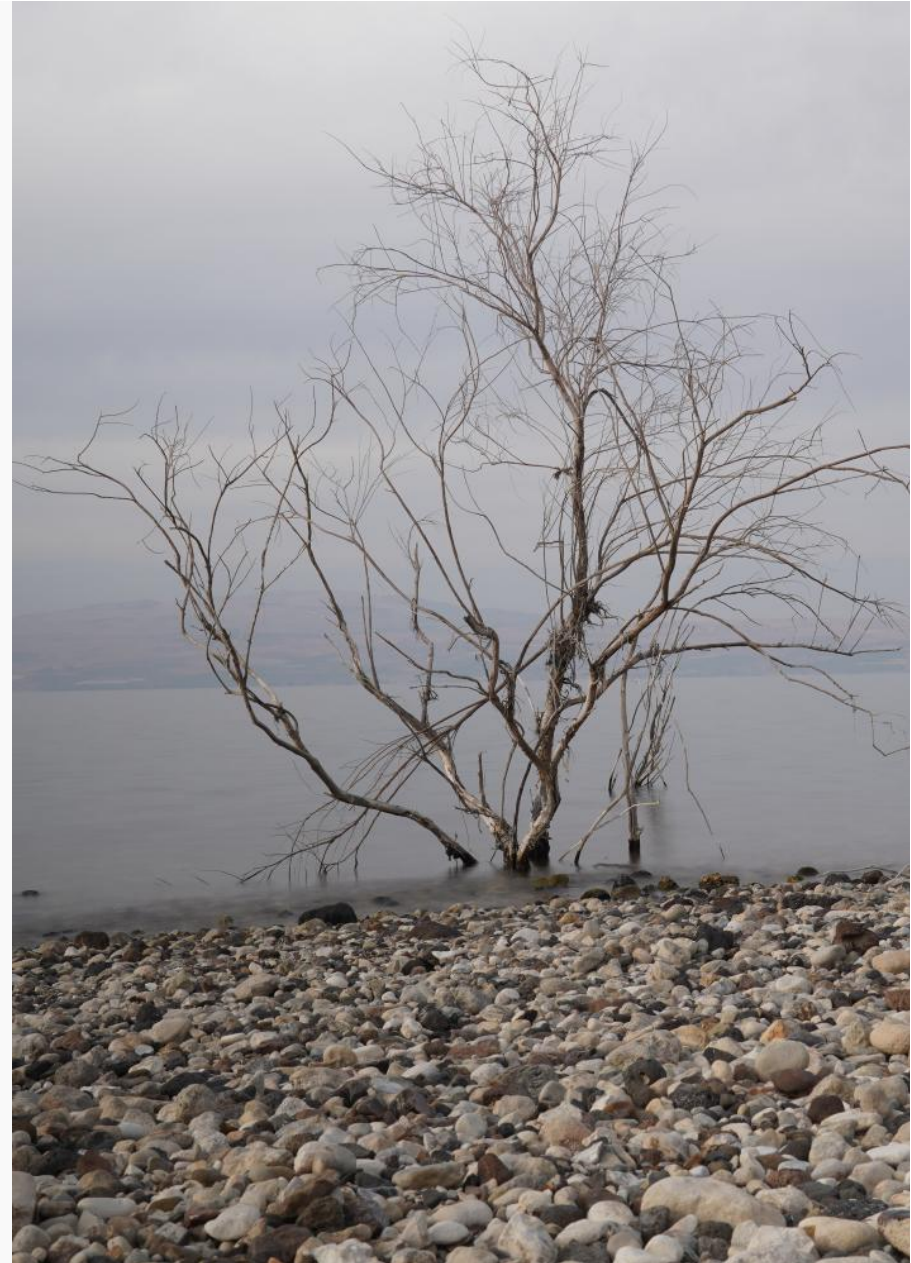
イエスはそれに気がついて言われた。

「**信仰の薄い人たち。パンがないからだ**などと、なぜ論じ合っているのですか」

＊非を責められたように感じた弟子たち。

イエスの皮肉だと受け止めた？

■ 信仰の幼さや後退が強める被害者意識。  
感情に振り回され、主の警告を無為に。



## 本編 メシアの問い マタイ16:9～10


まだ分からないのですか。五つのパンを五千人に分けて何かご集めたか、覚えていないのですか。

七つのパンを四千人に分けて何かご集めたか、覚えていないのですか。

■ 五千人の供食 ➡12かご(イスラエル)

四千人の供食 ➡7の大かご(異邦人)

■ メシアの恵みは、救われるべき、すべての**イスラエル**と**異邦人**を満たす。



感情は妨げに!!

たとえ話の理解の肝は  
主の意図の正しい理解



## 本編

## パン種 マタイ16:11

「わたしが言ったのはパンのことではないと、**どうして分からないのですか。**  
パリサイ人たちとサドカイ人たちのパン種に用心しなさい。」

- 目の前の問題(パンがない)に囚われ、メシアの教えが耳に入らなかった…。
  - 客観的に見れば明らかにおかしいが、容易に陥ってしまうのが、私たち。
- ➡ 注力しなければ御言葉は理解できない。



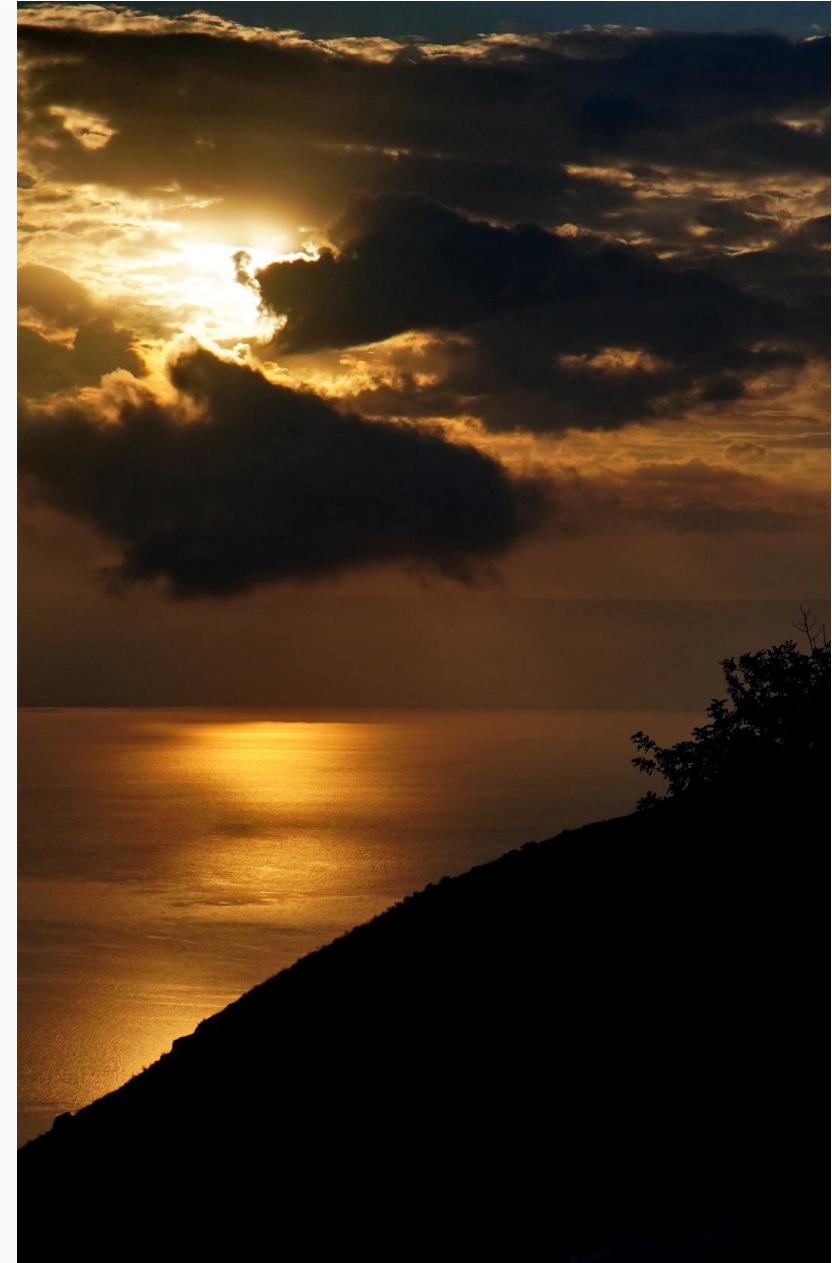
御言葉そのものに  
集中しているか？

## 本編

### パン種の意味 マタイ16:12

そのとき彼らは、用心するようにとイエスが言われたのはパン種ではなく、**パリサイ人たちやサドカイ人たちの教え**であることを悟った。

- パリサイ人たちやサドカイ人の教えこそ、偽りを膨らませるパン種。
- **パン種 = 偽りの教え**こそ、私たち教会が最も警戒すべきこと。







## IV. まとめと適用

遠ざけるべき口伝律法と世俗とは？

ガリラヤ湖

## 二つの奇跡の対比

	五千人の供食	四千人の供食
場所	ガリラヤ湖西岸の山 イスラエル	ガリラヤ湖東岸の山 異邦人の地
結果	12のかご イスラエルを象徴	7つの大かご 異邦人を象徴

すべての救われるべきイスラエルと異邦人が救われる



## 二つの供食をめぐる出来事

バプテスマのヨハネの死		イスラエル
五千人の供食		イスラエル
湖上歩行の奇跡		イスラエル
パリサイ人との論争		イスラエル
ツロ・シドンの女の娘の癒し		異邦人の地
四千人の供食	総まとめ ↓	異邦人の地
パリサイ人、サドカイ人との論争		イスラエル
二つの供食の意味	パン種の警告	異邦人の地

総まとめ

## ①二つの供食の解説 と ②パン種の警告 が示すこと

### ■「異邦人の時」である教会時代の信者への教え

**①二つの供食の解説** …救われるべきすべての  
イスラエルと異邦人が救われる

**②パン種の警告** …教会に偽りの教えが入り込む

- ①パリサイ派的なもの(口伝律法)
- ②サドカイ派的なもの(世俗)

教会時代には、救いの恵み と 霊的戦い がある



## 教会を浸食する 口伝律法と世俗とは？

■ イスラエルと異邦人の救いの一方、二つの霊的戦いが!!

### ① パリサイ派的パン種 …口伝律法

人が勝手に加えた人の教え

### ② サドカイ派的パン種 …世俗(復活の否定など)

人間的な世との妥協

その教えや慣習は、正しく聖書に基づいているか？

## 教会を浸食する 口伝律法と世俗とは？

■現代の教会に浸食する口伝律法や世俗とは？

例1) 何があんでも十分の一献金 →全的献身こそ特権

例2) 悔い改めの実のないまま責任を曖昧に

→赦しとは神への委任。刈り取りは免れない。

例3) 裁いてはならない →内部こそ裁くべき(1コリ5:12)

例4) 「御心なら…」 →前もった言い訳?! 適わない保険?!

→主イエスは、ゲツセマネの一度だけ(ルカ22:42)

→使徒パウロは今生の別れに(使18:21)

**乱用厳禁**



## ★ 主のみこころに歩むために ★

- 主イエスは、言葉と体験で弟子たちに教えられた。  
身をもって学ぶ大切さ。決断して踏み出そう。  
失敗しても、悔い改めれば、それすら益とされる。
- 私たちには、神の似姿として自由意志が与えられている。  
愛するか、憎むか。受け入れるか、拒むか。私次第。  
与えられた自由意志を、御心に適って実行していこう。

**主の御言葉を、正しく聞き、ふさわしく従って行こう!!**

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

私たちと同じく、福音を信じる人々をこの地に起こしてください。

私たちの内にあっても、主の御心が正しくなされていきますように。

私たちは、主の御言葉に聞き従い、学んだことを実行します。

主の栄光を現してください。私たちを遣わし、用いてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」